

令和4年度補正 下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

令和4年度補正採択技術について評価結果を示す。

●令和4年度補正採択技術（実規模実証新規採択）

○消化汚泥から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業（水ingエンジニアリング(株)・神戸市共同研究体)

提案された技術について、リン回収処理能力の向上や消費電力量の削減を目指して研究を実施していただきたい。なお、普及展開の推進に向けて、適用規模の拡大の検討にも留意すること。

○MAPにより脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業（JFEエンジニアリング(株)・横浜市共同研究体)

提案された技術について、リン回収処理能力の向上や消費電力量の削減を目指して研究を実施していただきたい。なお、安定的な運転管理に向けて、各種要素技術の最適な運転条件の検討にも留意すること。

○新たなリン回収システムによる下水道の資源化に関する実証事業（太平洋セメント(株)・メタウォーター(株)・東京都下水道局共同研究体)

提案された技術について、リン回収処理能力の向上やリン回収システムの安定稼働を目指して研究を実施していただきたい。なお、普及展開の推進に向けて、ライフサイクルコスト削減の検討にも留意すること。

●令和4年度補正採択技術（FS 調査新規採択）

○下水汚泥焼却灰の低コスト肥料化技術に関する調査事業（三機工業(株)・秋田県・東京都下水道局共同研究体)

提案された技術について、重金属含有量の削減や維持管理費の削減を目指して調査を実施していただきたい。なお、除去した重金属の最終的な取り扱いにも留意すること。